

# 道 -ROAD-

大阪学芸中等教育学校  
校長室だより

## だ うが 雨垂れ石を穿つ

今年は例年より遅く 7 月下旬に梅雨が明け、その後早々に猛暑が到来しました。そんな中、皆さんは夏休みをどのように過ごしましたか。2 学期が始まりましたが、まだまだ厳しい暑さが続いています。また、夏の疲れが出やすい時期でもあります。まずは、自分の体調管理をしっかり行い、生活リズムを元に戻して欲しいと思います。

そして、2 学期も授業にしっかり集中すること。毎時間毎時間の授業の積み重ねを大切にしてください。特に、6 年生は自分の進路に向け、いよいよ正念場を迎えます。最後まで粘り強く努力を続けて欲しいと思います。

8 月の猛暑の中、連日熱戦が繰り広げられた夏の高校野球。都道府県の代表として故郷の期待を背負い、「優勝」を目指して必死で頑張る姿に感動する場面もたくさんありました。憧れの甲子園出場を果たした高校球児たちは、マスコミにも大きく取り上げられて華やかに映りますが、その裏には目標に向い、必死に日々練習を積み重ねてきた頑張りがあつたはずです。

続けることの重要性、たゆまず、くじけずに続けていくことの大切さを述べた「**継続は力なり**」という格言があり、皆さんもよく知っていると思います。今号では、始業式でも話をしましたが、これと似たような意味をもつ言葉を紹介합니다。

「**雨垂れ石を穿つ**」という故事成語です。出典は、中国の歴史書「漢書」の枚乗伝という章で、「泰山之霤穿石(泰山の霤(あまだれ)石を穿つ)」という言葉が出てきます。

「雨垂れ」というのは、屋根や軒先からしたたり落ちる雨のしずくのことです。「石を穿つ」の「穿つ」とは、穴をあけるとか、突き抜けるという意味で、「石に穴をあける」という意味になります。つまり、**軒先からぼたぼた落ちる雨のしずくのような小さなしずくでも、長い間ずっと同じところに落ち続けると、硬い石に穴をあけてしまうことがある**ということなのです。

このことから、**どんなに小さな力でも、根気よく続けていればいつか大きな成果が得られる**ということを表しています。「石を穿つ」という結果は、はじめから期待できるものではありません。あきらめずに努力を続けることで、結果は後からついてくるものです。

「学問に王道なし」と言われます。学問には簡単に習得できる近道はないという意味のことわざです。また、勝利にも完璧な方程式などありません。努力した者が必ず成功するとは限りませんが、成功した者は必ず努力しています。やはり、大切なのは、小さなことからコツコツと取り組む姿勢を持つということではないでしょうか。

2 学期のスタートにあたり、皆さんに守って欲しいことをもう一つ。

**「自分がされて嫌なことを人にしない、自分が言われて嫌なことを人に言わない。」**

このことをしっかり心に刻んで、**明るく楽しく前向きに (ATM) 学校生活を送って**くれることを願っています。